

二八四一
天保十二年十二月 甘楽郡檜原村ほか紙漉始め日限につき

誓約証文〔B〕

入置申一札之事

一私共村々之儀、年来「紙漉渡世、下仁田市場江」差出し買売致
来り」候所、南牧村々之儀者「年々会合被レ成、紙始メ」日限相
極、年々御掛合「有レ之候所、私共不行届」十一月中旬迄漉出し、「
楮直段ニも抱り候ニ付、「買売下仁田市場ニおゐて」差留被レ成
候趣、村々互「御掛合ニ預り迷惑仕候間、「来ル寅年互ハ南牧
一流」会合之時々御沙汰被レ下」候ハ、村々惣代もの罷出、「
会合日限取究之通り」漉出し可レ申候、若日限究「以前漉出し候
もの有レ之」候ハ、何様御差留ニ相成」候とも、一言之申分」
無ニ御座候、為ニ後日入置」申一札、依而如レ件

天保十二

丑十二月

山中領檜原村

伊右衛門

元右衛門

乙父村

三郎右衛門

幸藏

午之助

平原村

平助

右村々名主

誰

南牧村々

紙漉惣代衆中

商人惣代

岩戸村

山田や常次郎殿